

夜間学校 ニュース

1987年6月12日
西成区萩之茶屋2の
8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を

仕事よこせ！

釜日労の署名運動に協力を

釜ヶ崎日雇労働組合が、

大阪府に出す、仕事保障対

策要求署名を、今週の月

曜日からおこなっている。

もうすでに、おおくの仲

間が署名をしていること

思いますが、今年のこととして

ではなく、二年三年さまを

みすえて、一人でも多くの

仲間が署名に参加されること

を望む。

要項事項は次の三ポイント

一、アフレ期に、特出し求人を行なえ。

二、アフレ期に、府、市発注公共事業への釜ヶ崎労働者吸収制度を実施せよ。

三、中高年層、障害者の労働者に対し、通年的な就労保障対策を行なえ。

今後、要求実現にむけて

様々な闘争がとりくまれる

と思う。釜ヶ崎夜間学校も

できる限り協力していきたい

いと考えている。

現在の大阪府労働部職業

対策課長の前職は、労働大

臣官房政策調査部産業労働

調査官というところらしい。

具体的にどんな仕事をし

てきた人かは判らぬが、な

んとなく、労働者の置かれ

ている実情に詳しいように

思われる。

もつとも、釜のことは

あいいりんレ特別対策室が担

当するのだろうし、対策室

と対策課は同格ということ

労働行政について
わからぬこと
頭にきたことは電話を...

労働福祉課 941-1165
雇用保険課 942-0461

- 大阪府庁 941-0351
- 知事室 941-2071
- 労働部 部長室 941-1265
- 労政課 941-0029
- 職業対策課 941-3047

毎週金曜日
夜七時より
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなで作ろう
みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

649-1491

あいいりん労働
公共職業安定所

になつてゐるらしいので、新しい職業対策課長は、釜のことはかかわらぬのかも知れない。

しかし、この人事でわかることは、労働省と大阪府労働部は人事交流があること、また、釜ヶ崎の就労対策を実現するためには、やはり労働省まで押しかけなければラチがあかないのではなかりかと思われることである。

当面、大阪府には、府としてできることを早急におこなえとせまつていかなければならないが、同時に、労働省に対しても強く働きかけて行く道をさぐつていかなければならぬだろう。

春のアブシ地獄は、山谷でも寺でも同じように存在する。労働省へは、全国の仲間と手をたざせて押しかけることが実現

する基礎はある。とりあえず、今年には対府要求実現において全力を

今年には対府要求実現において全力を

早朝センターの情報収集が違法だから

知つてゐることも知らないふりしてゐるのか

それとも、より悪質だ、

組合をツブスためにトボけてゐるのか

どうやらにしても労働者に敵対する西成署

先週の夜間学校で、西成署が

加害者であるにもかかわらず被害者面して被害届を出した男の

ことをウのみにして、釜日労働の

仲間を逮捕したことを書いた。

西成署は、釜の労働者が血を流して、全労二週間も三週間も

かかるようなキズを負わされて

シソギの被害届を出しに行つて

も、まともにとりあわぬこと

で有名だが、住民票をもつてい

る喫茶店のどう息子のいうこと

なら、デタラメとは、きりわか

つていても、そちらの肩を持ち、

被害者の側を逮捕することには

デマにマをおしまぬといひること

のようだ。だから労働者に敵視される。ことも書いた。

それを讀んだせいかどうか知らないが、釜日労働や夜間学校のメンバーにたいして、傷害事件について、おききたいことがありますので、おいでください。いしというハガキをなんせ配達人が警官だから、ハガキとは言わぬか、が届けられた。

まるで、人の頭をなぐつておいて、なんでなぐつたか知ってるやろ。と、なぐつた相手に後から聞いてゐるようなものだ。

釜日労働は、この事件の事実経過について、いろいろにも書き、マ

イク情宣でも明らかにしてい

る。西成署が釜日労働のせうを

あつめ、マイク情宣をいつも

聞いていることは皆もよく知

つてゐるとおりだ。

西成署は、どちらが被害者

かよく知つていながら、トボ

けて被害者の側を逮捕した。

それを今さら事情を聞きたい

とはどういふことか。聞きたければ、頭をたたく前、逮捕する前に聞くのがスジというもつた。

釜日労働のメンバーは行かないと決めた。夜間学校のメンバーは、事件の現場に立会つておらず、信頼できる人の話にもとづいて、ニュースに書いた。ニュース源を明らかにすることは信義にもとるので、やはり、行かないと決めた。

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の

西成署は自ら非を認め、仲間の